

(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン 構成イメージ【資料2】

1. 計画の概要

(1) 計画の目的・背景

限られた財源の中で社会変化に対応し、より良い行政サービスが提供できるよう、将来を見据えた長期的な視点で市民センター等のあり方について示す「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン」を策定する。

(2) 位置づけ

町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」や「町田市公共施設等総合管理計画(基本計画)」に基づき策定する。

(3) 計画期間

2021年度～2039年度

2. 現状と課題

(1) 財政のひっ迫、公共施設の老朽化、維持管理費の増大

財政状況が厳しさを増す中、公共施設の多くが老朽化しており維持管理経費の増大が見込まれる。維持管理経費の財政確保が困難な中、必要な公共サービスを維持または向上させるため、施設総量を圧縮しつつ、施設重視から機能重視への転換による新たな価値を創出する。

(2) 施設機能毎の考え方としての施設再編

町田市公共施設再編計画の基本的な考え方に基づき、「建物」とそこで提供される「サービス・機能」を切り離し、施設機能毎(「A 庁舎・窓口機能等」「B 集会施設」)のより良いかたちを実現するための方向性を整理する。

(3) 行政窓口のデジタル化への対応

マイナンバー制度の進展等の ICT 化により、窓口へ来所することなく、より簡単に身近な場所で行政手続きが可能となるなど、行政サービスが大きく変化することが想定される。社会変化に対応した行政窓口の見直しが必要となる。

(4) 利便性の向上

より良い行政サービスの提供のため、市民にとっての利便性向上の視点から検討を行う必要がある。

(5) 認知度の向上

市民センター等の利用率向上のため、市民の認知度を向上する必要がある。

(6) 市民センター等の将来的な役割の変化

環境変化に伴う市民センター等の将来的な役割の変化を見据えた検討を行う必要がある。(事例「熊本市(証明書発行に特化した窓口を整理し、まちづくり支援として機能強化を図る)等」)

現状と課題を踏まえた方向性のグループ化

サービス・
利便性

ソフト・
魅力

地域・コミ
ュニティ

コスト・民
間協働

町田市市民センター等の「あるべき姿」検討概要

3. あるべき姿

【行政窓口編】

サービス ・利便性	<p>【委員会でのご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の施設の中で、どこを有効活用できるのかを考えながら、利便性の高いところに施設を置いていくことが重要（前田）。 <p>利用者にとっては、どれだけ便利で楽しく利用できるかが大事。行政の縦割りをなくすことが大事（大倉）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>駐車場は必要（安達）。</u> ・<u>建物という市の負の資産を減らすため、新たな資産として人的資産（ソフト面）を充実させる必要がある、デジタル化が重要となってくる（大倉）。</u>
	<p>【各地区協議会インタビュー・MSP ワークショップでのご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>何でも気軽に相談できる市民のコンシェルジュ的なところになると、若い人からお年寄りまで利用してもらえる。（鶴川）</u> ・<u>デジタル化が進んでいくにつれて、行政手続きはオンラインで行えるようになる。ただ、高齢者のようにオンライン化に対応できない人のために、困った時に相談できる窓口が必要。困った時に相談できる場所というのが今後の行政窓口の役割になっていくのではないか。（小山）</u> ・行政手続き的なものは集会施設と同じところがあると便利。（相原） ・<u>センターでいろいろなことができるよ。（鶴川）</u> ・<u>連絡所と市民センターで行える手続きが異なるため、同じ機能にしてほしい。（MSP）</u> ・<u>若者の車離れという問題はあるが、駐車場は必要。（小山）</u> ・<u>場所は公共交通網の整ったところにあった方がよい（駅に近い、バス停が近い等）。（相原）</u> ・<u>近いところにあれば利用する。（MSP）</u> ・<u>市役所と同じようになんでもできるセンターなら子どもセンターと同じ5カ所くらいにあればよい。（MSP）</u>
ソフト・魅力	<p>【委員会でのご意見】</p> <p>なし</p>
	<p>【各地区協議会インタビュー・MSP ワークショップでのご意見】</p> <p>なし</p>

地域・コミュニティ	<p>【委員会でのご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>地域に若者が留まり、そこで魅力を作り上げ地域の活性化につながるような、そんな若者が居たがるあり方が必要（佐野）。</u>
	<p>【各地区協議会インタビュー・MSP ワークショップでのご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>各地区には拠点となる場所が必要。（忠生）</u>
コスト・民間協働	<p>【委員会でのご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>民間で維持管理費を賄うのがよい（竹島）。</u>
	<p>【各地区協議会インタビュー・MSP ワークショップでのご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>プール、図書館、自習室、子どもセンター等いろんなものが1つの施設にあれば便利。ポプリホールみたいな施設は良い（MSP）。</u> ・<u>同じ場所に子どもセンターなどの他の公共施設もまとめてあると分かりやすい。（MSP）</u> ・<u>市民センターは民営化してよい（玉南）。</u>

【集会施設編】

サービス
・利便性

【委員会でのご意見】

- ・既存の施設の中で、どこを有効活用できるのかを考えながら、利便性の高いところに施設を置いていくことが重要（前田）。
- 利用者にとっては、どれだけ便利で楽しく利用できるかが大事。行政の縦割りをなくすことが大事（大倉）。
- ・駐車場は必要（安達）。

【各地区協議会インタビュー・MSPワークショップでのご意見】

- ・行政手続き的なものは集会施設と同じところがあると便利。（相原）
- ・センターでいろいろなことができるとうよい。（鶴川）
- ・若者の車離れという問題はあるが、駐車場は必要。（小山）
- ・場所は公共交通網の整ったところにあった方がよい（駅に近い、バス停が近い等）。（相原）
- ・近いところがあれば利用する。（MSP）
- ・若者が使うという視点で言うと、ライブ等ができる場や様々な用途で使える使い勝手の良い部屋があるとよい。（玉南）

ソフト・
魅力

【委員会でのご意見】

- ・地域には動けない高齢者のため、街の中心部には動ける若者のための魅力的な施設を作る（大倉）。

【各地区協議会インタビュー・MSPワークショップでのご意見】

- ・面白ければ人は集まるはずだが、現在の市民センターには面白さが不足している。今ある固定されたイメージからの大胆な転換が必要。（木曾）
- ・集会施設は場所貸しだけでなく、集まれる場所、そこへ行けば楽しいことや情報があるといった機能が必要になってくる。（鶴川）

地域・
コミュニティ

【委員会でのご意見】

- ・地域の若者が留まり、そこで魅力を作り上げ地域の活性化につながるような、そんな若者が居たがるあり方が必要（佐野）。

【各地区協議会インタビュー・MSPワークショップでのご意見】

- ・各地区には拠点となる場所が必要。（忠生）
- ・活動をサポートしていくために活動の場の提供は必要。（忠生）
- ・若者が、自分の関心のある地域団体と交流したり加入したりできる仕組みがあると、自然と、集会施設を利用する機会が増えていくのではないかと（MSP）。

コスト・
民間協働

【委員会でのご意見】

- ・民間協働、民間活用となると指定管理者制度も大きなウェイトを占める。指定管理者制度でできる部分について積極的に模索する必要がある（前田）。

【各地区協議会インタビュー・MSPワークショップでのご意見】

- ・コミュニティセンターは集約してもよい。（忠生）
- ・学校を利用したり地域の企業と連携して空き部屋等を活用すべき。（忠生）
- ・プール、図書館、自習室、子どもセンター等いろんなものが1つの施設にあれば便利。ポプリホールみたいな施設は良い（MSP）。
- ・同じ場所に子どもセンターなどの他の公共施設もまとめてあると分かりやすい。（MSP）

4. あるべき姿を実現するための手法

【行政窓口編】

サービス・
利便性

【委員会でのご意見】
◎デジタル化により、証明書や印鑑証明等自体が不要となってくるのではないかと。窓口のあり方が変わる。社会がどんどん複雑になりそれに対する説明や新たな相談も増えてくるのではないかと。そのための相談窓口が必要。(竹島)
◎相談機能ということが重要になってくると認識している。実際の相談に対して解答する方がその場所にいないとはいけないということはない。オンラインでつなぐということも可能。電話対応もできるかもしれない。(神山)
◎面と向かって判断することが必要。高齢者等の分からない方への窓口を用意すべき。そうした人たちへの補完をしながら進めていく必要がある。(大倉)
◎セキュリティの問題は、データ漏洩、改竄など。我々素人が考える以上に問題となっている(大倉)。

【各地区協議会インタビュー・MSPワークショップでのご意見】
・将来的に現在窓口で行っている手続き関係はデジタル化が進んで、窓口にいる必要もなくなり、役割が変わっていくと思う(相原)。
・デジタル化が進んでいこうが、相談窓口が備わっていて親切に対処してもらえるシステムが必要(鶴川)。
・行政窓口の集約はあると思う。証明書発行だけの連絡所は考えていく必要がある。土日開庁と時間延長があれば連絡所はいらぬのではないかと。(忠生)
・窓口には機械があれば人はいなくても良い。人を減らして人件費を減らした方が良い。(MSP)

ソフト・
魅力

【委員会でのご意見】
なし

【各地区協議会インタビュー・MSPワークショップでのご意見】
なし

地域・
コミュニティ

【委員会でのご意見】
・地域に根差した団体と若い人の問題意識をマッチングさせる機能を地域拠点におくことも重要(前田)。
・地域のニーズにあった施設、要件を満たすような内容を市民センターに置く(大倉)。

【各地区協議会インタビュー・MSPワークショップでのご意見】
なし

コスト・
民間協働

【委員会でのご意見】
・地域に根差した施設である学校を、地域に合わせて活用していく(大倉)。
・学校を民間などが管理して、みんなが使えるようにしていけばコミュニティの場になっていくと思う(實方)。
・学校が地域で使えるようになればよい(竹島)。
・学校は現在統廃合の問題が出ており、1つにまとめたら、使わなくなった学校をうまく利用できないか(安達)。
・複合的で魅力ある民間施設に行政サービスが入り込む(竹島)。
・民間施設に行政窓口があると行政サービスの認知度が広がる(佐野)。

【各地区協議会インタビュー・MSPワークショップでのご意見】
・民間資金の活用による施設の改築を検討する必要がある(木曾)。
・大人と子供のコミュニケーションを取る意味で学校利用もよい。(忠生)

【集会施設編】

サービス・
利便性

【委員会でのご意見】

◎予約がなくても使えるフリースペースは賑わいを持てるし、多世代が接点を持ちコミュニケーションの発展もあり得るかと思う（磯崎）。

◎自分の世代（大学生）は貴重な戦力になると思うので、きっかけとしてフリースペースが一つあれば使い方が生まれ、集会施設としての意味はそれだけでもあるのではないかと思う（佐野）。

【各地区協議会インタビュー・MSP ワークショップでのご意見】

なし

ソフト・
魅力

【委員会でのご意見】

◎縛りをどれだけ緩めるか。それにより現状のままであっても借りる人が増えることも可能ではないか。（竹島）。

◎子どもセンターや市民センターなど場所によって使える年齢が限られているというのが一つの問題ではないか。使い勝手を検討改善していくことでみんなが使えるようなものになってくれば利用状況が変わってくると思う。（實方）。

【各地区協議会インタビュー・MSP ワークショップでのご意見】

・民間を活用して魅力的な講座（例：ヨガ教室など）などを開けるようになると、より活発に施設が使われる。民営化も視野に入れてよい。（玉南）

・飲食できるようにすれば利用率が上がると思う（忠生）。

・飲食（飲酒）ができれば使用したい（町田第二）

・準備のために10分前に諸室に入れるようにしてほしい（相原）。

・カフェ等があって、気軽に集まり交流ができる場所になると良い（相原）。

・イートインスペースをつくったらよい（MSP）。

・通常よりも高額な貸出料金で企業等が使用できるようにしたらどうか（町田第二）。

地域・
コミュニティ

【委員会でのご意見】

地域に根差した団体と若い人の問題意識をマッチングさせる機能を地域拠点におくことも重要（前田）。

・地域のニーズにあった施設、要件を満たすような内容を市民センターに置く（大倉）。

【各地区協議会インタビュー・MSP ワークショップでのご意見】

・クラブやバンドのメンバーを募集するときに、集会施設の掲示板が利用できたらいいと思う（MSP）。

コスト・
民間協働

【委員会でのご意見】

・地域に根差した施設である学校を、地域に合わせて活用していく（大倉）。

・学校を民間などが管理して、みんなが使えるようにしていけばコミュニティの場になっていくと思う（實方）。

・学校が地域で使えるようになればよい（竹島）。

・学校は現在統廃合の問題が出ており、1つにまとめたら、使わなくなった学校をうまく利用できないか（安達）。

・複合的で魅力ある民間施設に行政サービスが入り込む（竹島）。

◎例えば指定管理者等により、使い勝手が悪く、稼働率が上がらない施設を柔軟に使えるようにする必要がある。柔軟な体制づくりが必要（神山）。

◎認知度の向上が悪い点でも民間の活用が視野に入ってくる（神山）。

◎インターンシップとしてセンターの運営業務を手伝うとか、ボランティアという感覚でちょっと運用を助けるという形で参加する。、そうすることで友達にも来てもらうということで輪が広がる、情報やつながりが伝わっていく可能性がある。（佐野）

【各地区協議会インタビュー・MSP ワークショップでのご意見】

・民間資金の活用による施設の改築を検討する必要がある（木曾）。

・大人と子供のコミュニケーションを取る意味で学校利用もよい。（忠生）

・学校を利用したり地域の企業と連携して空き部屋等を活用すべき。（忠生）